

# 提 案 書

平成19年9月6日

総務省情報通信政策局地上放送課 御中

郵便番号 460-8388

住 所 なごやしなかくちよだ 名古屋市中区千代田2-15

名 称 株式会社エフエムあいち愛知

代表者 代表取締役社長 ほんだ 本多 りゅうたろう 立太郎

電話番号

電子メールアドレス

以下のとおり、「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等」に関して今後検討が必要と思われる課題について提案を提出します。

## 1 制度分野

### ○ 免許主体はソフト・ハード一体が望ましい

ローカル放送局の使命は地域住民に役立つ地域に根ざした情報を提供することであり、テレビもラジオもその基本精神が支持され発展して来た。

ソフト・ハード分離型は利点もあるが放送インフラが受託事業者にあっては合理化も出来ず経営的にも苦勞する。

### ○ 免許主体は現状の県域単位が望ましい

地域活動が事業の主体である放送は県域単位の免許が望ましい。

但し移動体向け放送としてはエリアは広い方が有効であり、地域によってはテレビ放送のように大都市近郊の地域を含めた広域免許も考えられる。

### ○ 免許主体は既存ラジオ放送事業者を優先してほしい

デジタルにより可能となる様々な移動体向け番組制作に於いても、行動力を伴った地域密着のきめ細かな情報提供は必須であり、長年のラジオ放送実績のノウハウを生かす事が出来る。

## 2 技術分野

### ○ 技術方式

ISDB-Tsbの技術基準で東京・大阪で実用化試験局として放送している(社)デジタルラジオ推進協会の放送実績と東京ラジオ社を中心とした番組コンテンツ制作力は、今後のマルチメディア放送の一つの基礎となるもので、苦心の事業として評価したい。

1セグ、3セグ放送のコンテンツ充実度は更に多方面に渡り、各事業者も来るデジタル放送の本放送に向けて番組内容強化に動いている。ISDB-Tsb方式の継続を強く望みたい。

### ○ 周波数割当て

移動体受信ではマルチメディア放送も車での利用者は多いと思われ、特に映像視聴が不向きな車内では狭帯域の高音質音楽番組受信が適している。大型アンテナを設置している車搭載型携帯端末としてはVHF-lowバンドが最適と考える。

またVHF-lowバンドで狭帯域であればチャンネルも多く取れ、既存音声放送事業者の事業参画は容易となる。

一方さまざまな場所で携行され利用されるであろうコンテンツ豊富な広帯域バンドは、アンテナ形状が小さく携帯電話と同梱出来るVHF-highバンドが最適と考える。

## 3 ビジネスモデル分野

収益モデルとしては、広告収入、有料コンテンツとダウンロードサービスの課金収入他が考えられる。

## 4 その他